

みんなでプレワーク事業【長野県南箕輪村】

総事業費	1,995 千円
交付金額	901 千円

地域の実情と課題

伊那地域は、長野県のほぼ中央に位置し、東京・名古屋と地理的にも近く、豊かな自然に恵まれた長野県有数の工業地域である。製造業は男性の就業率が高い業種であり、出産や子育てを迎えた女性は離職をする傾向がうかがえる。このことは、平成27年国勢調査結果から、南箕輪村及び箕輪町における女性の労働力率は全国平均より高いが、25-29歳、30-34歳の年代については全国的にM字カーブが深いことから、多くの女性が結婚・出産期にさしかかる25歳以降、ライフイベントを重ねるにつれて、一時的な離職といった選択を行っていると考えられる。今後の地域の発展のためには、暮らし方や働き方の意識の変革、企業の女性活躍に資する働き方の推進、生産性・豊かさの向上に向けた取組の推進が求められている。

事業の特徴

同じような境遇の女性とつながること、託児付きの軽作業をしてもらうことで、社会貢献につながっていることを感じてもらえる。

事業の効果

目標であるプレワーク実施回数目標値70回のところ、実績値125回となり、目標を大きく上回って達成することができた。託児付きのプレワークを実施したことにより、ママ友ができる人、子育てで窮屈を感じていた人のリフレッシュになったなどアンケート結果からみても満足する声が多かったので、大いに評価できる。

目的・目標

人口減少時代にあって、女性の社会進出は必要不可欠となっているが、子育てと仕事の両立に不安を持つ女性が多くいる。そんな中で、自分の適性を知り、社会とのつながりを実感すると同時に、同じような境遇の女性とつながることで、悩み等を共有消化するための機会を設けることを目的とした事業。プレワーク実施回数70回という目標とした。

連携団体

箕輪町：箕輪町の支援対象者が利用することを可能とした。

今後の課題

同じ境遇の女性と関わる機会、また対価をもらう仕事をするすることで社会との関わり、社会貢献につながっていると感じる場合は、ほとんどないため、今後も継続して実施していく必要がある。また企業側の発注できる数量に変動があるが、プレワーク登録者数が増えているため、企業側へアプローチして新たな生産体制を確保してもらえるようアプローチをかけて、本事業を拡大させていきたい。

《みんなでプレワーク事業》

自分の適性を知り、社会とのつながりを実感すると同時に、同じような境遇の女性とつながることで、悩み等を共有消化して一歩ずつ前進してもらうため、就職や起業を考えるのはもう少し先だと考えている女性たちを集め、託児付きで軽作業を実施、慣れてきたら自宅に持ち帰りをしてもらうことも可能とした。

実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

プレワーク実施回数: 125回

プレワーク参加者数: 848人

